

ガバナー月信



月信6月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 雪国魚沼 RC 創立 60 周年記念式典
- ③ 米山記念奨学生オリエンテーション
- ④ 第 3 回派遣学生オリエンテーション
- ⑤ 長岡西 RC 創立 40 周年記念式典
- ⑥ 新潟中央 RC 創立 30 周年記念式典
- ⑦ 地区研修・協議会
- ⑧ 財団委員会通信
- ⑨ 会員数報告
- ⑩ 地区主要行事予定 (6 月・7 月)
- ⑪ 新入会員紹介・訃報
- ⑫ コーディネーターニュース
- ⑬ ハイライトよねやま

国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度

高橋ガバナー事務所

〒950-8053
新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟 1F
TEL : 025-222-2561 FAX : 025-222-2565



国際ロータリー第 2560 地区
2022-23 年度 ガバナー
高橋 秀樹 (新潟 RC)

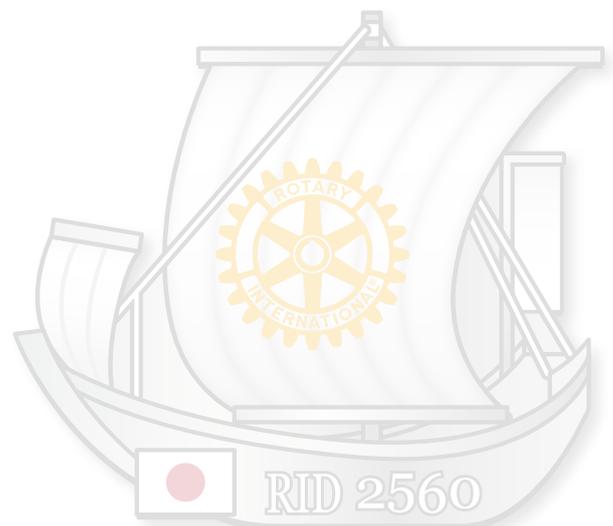
今年度も残り一ヶ月となりました。少々気が早いかもしれませんが、まずは御礼を申し上げたいと思います。みなさまの御蔭で無事に今年度が終了しそうです。本当にありがとうございました。年度が始まった頃は、まだ Covid 19 感染状況の先行きが不透明で、何かと不安がありました。みなさまの御協力により、円滑に地区の業務を進めることができました。年度初めの県北豪雨災害についても、みなさまから多大な御支援と御寄付を頂きました。他にも、この一年を通して、みなさまから頂いた御支援、御協力は数え切れません。深く感謝申し上げます。

さて、当地区の今後に関する事で、既にお知らせしてはおりますが、改めてお伝えしたいことが3点あります。まず、地区事務所の移転です。オークラホテルの都合により、地区事務所を移さねばならなくなりました。6月16、17日に地区事務所はイタリア軒に引っ越します。どうぞよろしくお願ひします。次に、地区内各クラブの事務局同士が情報と意見を交換するため、6月28日に事務局会議が開催されます。国際ロータリーは、社会奉仕活動等に益々重点を置くようになってきており、そのための業務量が増加しています。事務局同士の連携は今後益々重要になっていくでしょう。そして三番目に、地区研修委員会の活動についても今後注目していただきたいと思ひます。今年度は当地区の研修を向上させる体制を整えるための準備が進められてきましたが、5月20日に開催されました地区研修・協議会でも報告がありましたように、来年度から正式に地区研修委員会が活動を行うこととなります。ロータリーは基本的に単年度制ですから、毎年新たな立場での業務について改めてきちんと理解することが大切なのは言うまでもありませんが、国際ロータリーでは年々様々な変化があり、これにも対応して理解を進めていかなければなりません。また、地区内の多くのロータリアンから「ロータリーで行うべき活動についてもっと情報が欲しい」あるいは「意見交換を行いたい」といった要望が出てきています。地区研修委員会はこういった必要に対応していくことになるかと思ひます。

なお、今後の国際ロータリーの方向性ということについては、4月に開催されたクラブ活性化セミナーの際に、ガバナー会が行われ、そこで国際ロータリーの情勢について情報提供がありました。国際ロータリーでは、各地区の組織体制を改善する必要性が重要な話題として取り上げられています。今すぐに日本の組織体制に大きな変更が生じるわけではありませんが、世界の他の地区では、実験的な組織改革が試行されているところもあります。各クラブの公式訪問の際にも申し上げましたが、現在の大きな傾向として重視されているのは「地域化」ということです。簡単に言えば、世界各地でそ

それぞれロータリーの在り方は多様なので、それぞれの地域にあったロータリーの運営にしていくべきではないか、という考え方です。地域にとっては望ましい変化のように感じられますが、同時に、それぞれの地域で主体的に判断し責任を持つことが求められてくることにもなりますので、ロータリーの在り方についてよく理解し、行動することが必要です。このためにも、地道な研修が重要になってくると思われますので、上記で申し上げました地区研修委員会の活動には、ぜひ御理解御協力いただきたいと思えます。

ロータリーファミリーのみなさんが、今年度残り1ヶ月を充実した時間とし、素晴らしい来年度を迎えることができますよう祈念し、次の米山年度に益々の御協力・御支援を賜りますようお願い申し上げます、最後のガバナーメッセージとさせていただきます。ありがとうございました。





創立 60 周年記念式典に想う

雪国魚沼ロータリークラブ

会長

小野塚 徹 (雪国魚沼 RC)

先日は雪国魚沼の地へ多くの皆様よりお越し頂き誠にありがとうございました。コロナ禍にあり開催が危ぶまれるなか、延期また延期と2度の先延ばしを経てようやく開催することができました。ひとが寄り集まることについて特に深く考えたことがありませんでしたが、まさかのパンデミックにより、そのことが大変貴重であり、また多くのひとが欲していることだと感じることができました。リモート全盛で対面不要論まで飛び出すご時世であります。こうして皆様にお越し頂き交わされる言葉や熱量から得られるものは、圧倒的な価値がありました。この度はコロナ終息前にも関わらずご参加いただき、皆様との貴重な交流をさせていただきましたこと、この紙面をお借りし改めて御礼申し上げます。

先達に残していただいた60年の足跡を知る機会として、この周年事業は私個人にとって大変貴重なものとなりました。創始の精神にたどり着くことはまだまだできませんが、一步近寄れたように思います。次なる10年はどんな展開になるのでしょうか。人口減少は加速しいよいよ日常への影響は大きくなり、クラブ運営も難しい局面を迎えることと思います。変えることのできない流れには抗うことなく、変化できる部分は積極的に取り組み、これからもロータリークラブの一員として社会の要請にこたえられるよう関わらせて頂きたいと考えております。今後とも変わらぬお付き合いとご指導くださいますようお願い申し上げます。





米山記念奨学生 オリエンテーション・歓迎会について

奨学生選考委員会
委員

大野 博美 (新発田城南 RC)

国際ロータリー第 2560 地区、2023 学年度「米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会」が 4 月 22 日 (土)、ANA クラウンプラザホテル新潟で開催されました。当日は高橋秀樹ガバナーのビデオメッセージによるご挨拶から始まり、次に渡邊嘉子米山記念奨学委員長よりご挨拶をいただき、その後、小林達奨学生選考委員長によるオリエンテーションが始まりました。

オリエンテーションには新規奨学生 16 名とそのカウンセラーの皆さま、大学の指導教員の皆さまのご出席をいただき、歓迎会では継続奨学生 8 名と学友会 2 名の皆さまにもご出席をいただく事ができました。オリエンテーションでは、ロータリー米山記念奨学事業の主旨、これに伴う奨学生としての心得、守るべき規定そして義務についてスクリーンを使用しての説明があり、奨学生の皆さんにご理解いただき、奨学生全員より確約書に署名をいただくことができました。

その後、奨学生へのバッジ贈呈があり地区役員が奨学生一人一人にバッジを付け歓迎しました。バッジの重みと込められた期待を感じ取っていただけたと思っています。

この後は歓迎会の始まりです。奨学生はカウンセラーと初対面という事もあり、緊張した面持ちでしたが、カウンセラーの皆さまから奨学生への積極的なお声掛けがあり、すぐ打ち解け奨学生に笑顔が広がって行きました。集合写真を見てください。皆さん満面の笑顔です。

奨学生を引受けていただいたカウンセラー、そして世話クラブの皆さまには心から感謝申し上げます。奨学生のこれから先に続く道にお力添えをいただけますようお願いすると共に、奨学生と過ごす時間が大切で掛け替えのない時間になりますように祈念申し上げます。米山記念奨学委員会もカウンセラー、世話クラブの皆さまと共に奨学生のバックアップを行って参ります。

米山記念奨学事業は国境を超え、相互理解を目指す未来に向けた活動の一環だと思います。そしてこの事業を継続するにはロータリアンの皆さまのご理解とご協力が不可欠です。今後とも米山記念奨学事業へのご理解とご協力をお願い申し上げます。





第3回派遣学生オリエンテーション報告

青少年交換委員会
委員長

坂上 彰平 (豊栄 RC)

4月22日ホテルオークラ新潟にて、第3回派遣学生オリエンテーションを開催いたしました。

南雲博文ガバナーノミニーに出席していただきました。長期派遣学生、短期派遣学生、その保護者、ホストクラブの方々、ROTEXと委員に参集していただき開催いたしました。

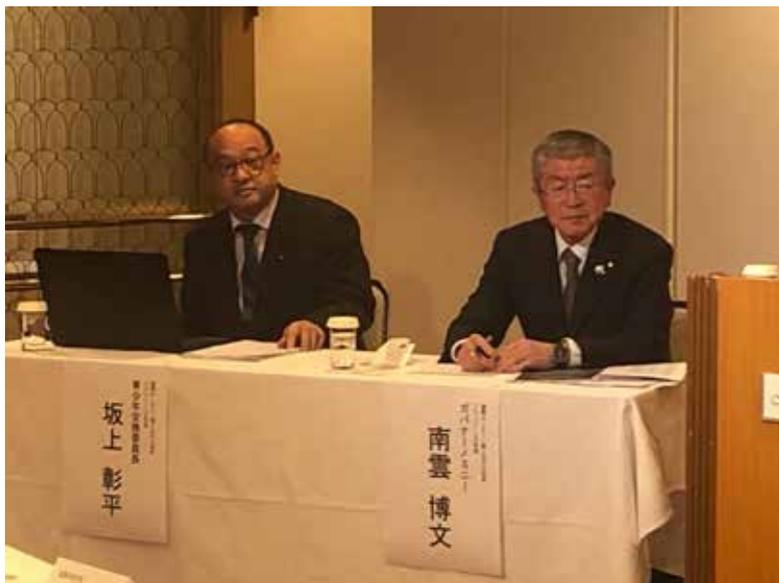
南雲博文ガバナーノミニーは初めてのオリエンテーションでしたので、青少年交換委員会の活動を見ていただける機会がただでさえ大変ありがたいと思っております。南雲博文ガバナーノミニーは学生達に熱いエールをくださいました。

最初に、市川委員よりホスト関係者の方々に、自身がホストファミリーになった時の体験を踏まえてホストファミリーの大切さや、ホストクラブとの連携の大切さを話していただきました。

第3回目のオリエンテーションでしたが、前回のオリエンテーションで学んで良くなった所もありましたが、パソコンの操作や音源の出し方が上手いかなかった所もありました。ROTEXからレクチャーがあり改善されると思います。

また、ROTEXの飯吉さんの所に来たホストシスター（ゲスト、ドイツ）からご意見をいただいたところ、「分かり易い情報で良いと思います。もっと自信を持ってプレゼンテーションした方が良いと思います。」とコメントもいただきました。

次回6月17日最後のオリエンテーションを開催いたします。それまでに皆様からアドバイスいただいた事を活かして、より良いプレゼンテーションの発表を見る事ができると思っております。





おかげさまで創立 40 周年

長岡西ロータリークラブ
会長

中村 和文 (長岡西 RC)

長岡西ロータリークラブの創立 40 周年記念式典を、4 月 23 日に長岡ベルナルにおいて開催することが出来ました。長岡市長、長岡商工会議所の役員の方々並びに高橋秀樹ガバナーはじめロータリアンの皆様にご臨席を賜り、誠にありがとうございました。

当クラブは、長岡東ロータリークラブのご支援により、1983 年 6 月に創立し、以来会員相互の「親睦」を最優先に考えたクラブ運営を行っています。また、ロータリーの定義に則り、会員一人ひとりの善意と奉仕活動に基づく地域貢献に努めております。

このたびの創立 40 周年記念事業としまして、道の駅「ながおか花火館」へ、長岡大花火を象徴する「正三尺玉」をイメージしたモニュメント（6 月下旬設置予定）を贈呈いたしました。これは太陽の光により、影絵のように地面に花火が描かれる仕掛けになっています。また市内の「フードバンクながおか」と「長岡こども・地域食堂ネットワーク」に寄付金を贈りました。

記念講演としまして、株式会社 自遊人 代表取締役 岩佐十良 様から「エリアリノベーションでまちが蘇る！」と題したご講演をいただきました。いかにして地域の魅力を引き出し、地方を活性化させ街を蘇らせたのか、参考例と共に今後を見据えたお考えを伺いました。

その後の記念祝賀会では、当クラブの会員が所属している、長岡青悠会による悠久太鼓を披露していただきました。

今回、記念式典を計画している時期に、COVID-19 による感染者が県内において一日約 3,000 人前後発生しておりました。従いまして、出席者の安全を第一に考え、近隣の分区のみにご案内をさせていただきましたことを、ご理解くださいますようお願いいたします。

これからも当クラブは、「親睦」の輪（和）を広げ、地域の皆様と共により良い生活に貢献できるよう社会奉仕に努めてまいります。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



長岡西ロータリークラブ創立40周年記念

令和5年4月23日

BERNARD





新潟中央 RC 創立 30 周年記念 式典を開催いたしました

新潟中央ロータリークラブ
会長

浅妻 信 (新潟中央 RC)

新潟中央ロータリークラブ創立 30 周年記念式典を 5 月 13 日、ANA クラウンプラザホテル新潟で開催させていただきました。会員 20 名に満たない小クラブで、この時期には、地区研修・協議会や各クラブの周年行事等が重なるため、身の丈にあわせた小規模なものにしようという考えもありましたが、蓋を開けてみれば、地区内外から延べ 174 名のご登録をいただき、言葉にならない感動を覚えました。ご参加いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

新潟中央ロータリークラブは 1993 年 3 月 19 日に RI より加盟承認を受けました。チャーターメンバーは 45 名と記録に残っております。

30 年という短くも長い年月の中で、新潟中央ロータリークラブは多くの人に支えられ、文化交流、教育支援など多岐にわたる活動を展開してきました。式典においては、RI 第 2560 地区米山忠俊ガバナーエレクト、当クラブのスポンサークラブである新潟北クラブ金田真人会長よりご祝辞をいただいたあと、これらの活動を振り返り、さらに当クラブ出身の 3 人の米山学友にご登壇いただき、新潟のお笑い集団 NAMARA の森下英矢さんの巧みな司会によるトークショーを開催いたしました。

その後開催された懇親会では、当日のアトラクションであるフラメンコにあわせた食事を提供させていただきました。また、3 年ぶりの「手に手」については、久しぶりすぎて違う曲が流れ、それに気づかず、しばらく歌うなどのハプニングもありましたが、これも含め楽しい思い出となれば幸いです。

最後になりますが、当日、都合により欠席となりました高橋秀樹ガバナーからは、丁寧なお詫びとお祝いの言葉を文書でいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。





2023-24 年度 地区研修・協議会 報告

2023-24 年度地区研修・協議会実行委員長
石川 友意 (三条北 RC)

5月20日、燕三条地場産業振興センターにて開催されました地区研修・協議会では高橋ガバナーをはじめ、地区役員、県内各クラブ会長・幹事・委員長の皆様よりご出席をいただき盛大に執り行うことができ、心から感謝とお礼を申し上げます。

今回は全てのセッションを事前の動画配信で視聴し、それから全体会議に臨んでいただくスタイルでございました。昨年の研修協議会で私はクラブの財団委員として動画の研修を受け、時間の空いた時に何度も視聴できたいへん勉強になりました。そのことをふまえ、実行委員会ではこの度はどのような研修会にしたら良いか何度も検討した結果、昨年とほぼ同様のスタイルとし、ご出席の中は感染症の状況を見て判断することに決めました。政府のマスク着用の緩和や、2類から5類にと言う情報も出た中で、研修対象者全員にお越しいただこうと言うことで進めさせていただきました。

4年ぶりにロータリアンが会場いっぱいになった景色は懐かしく、やはりこの様でなければ「ローリーの学びと親睦」は推し進めることができないと改めて感じた次第です。

タイムスケールで各セッション発表と質疑応答で時間がかかりましたが、その中で個々のロータリアンがそれぞれの思いで奉仕していく I serve の精神が垣間見られた様に思い有意義な時間だったと思いました。

最後に、高尾研修リーダーはじめ、お忙しい中事前の動画撮影にご協力いただいた地区委員会の皆様に感謝申し上げます。そして、優秀な地区事務局さんとクラブ事務局さん、又、いざとなれば団結して何でも協力して下さる三条北クラブ会員、皆さんの支えで何とか無事終了することができました。心からお礼を申し上げます。

ご出席いただきました皆様に重ねてお礼を申し上げますと共に、各クラブのご発展と更なる活性化が図られます様ご祈念申し上げ、報告といたします。



財団委員会通信

地区補助金を活用したプロジェクトが最終盤に差し掛かりました。

各クラブからも最終報告書の提出が多数寄せられています。

今月も先月に引き続き、その中から一番大切なプロジェクト終了後の「成果の確認」*について参考事例をご紹介します。今後のプロジェクトの企画立案に役立ててください。

*申請書を提出する際に各項目について記入いただいています。プロジェクトが終了し、最終的に受益者（地域）にとってどのように貢献し、公共イメージの向上に貢献できたかを検証し次へのステップになり得るかを確認することです。

今月紹介するのは次の2RCです。

- ・糸魚川中央ロータリークラブ 「2022-23年度「わたしの夢」作文コンクール」
- ・直江津ロータリークラブ 「直江津港 美化整備プロジェクト2023」



本書式に漏れなく記入の上、ガバナー事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ: 糸魚川中央ロータリークラブ

プロジェクト名: 2022-23 年度「わたしの夢」作文コンクール

プロジェクト成果の確認

【応募総数】

132名 132作品

【審査結果と表彰者数】

最優秀賞 1名
特別優秀賞 2名
優秀賞 4名
優良賞 8名

【ランキング】

1位 7人

保育士

2位 6人

水族館関係者、
プロ野球選手

3位 5人

ファッション関係
医療関係

カフェの経営

警察官

イラストレーター

4位 4人

人を笑顔にする
司書

決まっていない
人助け

美容師

パティシエール

5位 3人

建築士

ロボット関係

YouTuber

バレーボール選手

プロゲーマー



本書式に漏れなく記入の上、ガバナー事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ: 直江津ロータリークラブ

プロジェクト名: 直江津港 美化整備プロジェクト 2023

プロジェクト成果の確認

今回の直江津港 美化整備プロジェクトを当初に予定していたとおり令和 5 年 4 月 29 日に行いました。コロナ過の様子をみながら整地などの下準備を令和 5 年 4 月 23 日(日)の AM9:00 からロータリアン 2 名、ローターアクトなど 6 名、一般市民 30 名の合計 38 名にて行いました。天候の様子を見ながらハマナスの苗木 50 本の植樹とハマナスの種を植えるためのプランターの準備作業を令和 5 年 4 月 29 日(土)AM9:00 からロータリアン 25 名、ローターアクトなど 5 名の合計 30 名にて行いました。

当初の目的通り、当クラブで 1988 年に 30 周年記念事業で上越市へ寄贈した直江津港 佐護汽船ターミナルの記念モニュメントの周辺にハマナスの花の苗木を植樹する事で、参加された皆様も施設の魅力を再発見する事ができたと感じております。(別紙:アンケート結果参照)

また、今回の環境美化活動を地元紙の記事に掲載していただいた事により公益なロータリーの活動を広域に発信できたと思います。(別紙:新聞記事参照)

今後の展望として地域住民、行政、港湾関係者からのニーズを受けて、ハマナスの花を植樹するエリアを拡大し地域町内会、ローターアクトなどとの連携を深めて継続的に活動していけたらと考えております。

本書式に漏れなく記入の上、ガバナー事務所にご郵送下さい。

ロータリー・クラブ： 直江津ロータリークラブ

プロジェクト名： 直江津港 美化整備プロジェクト 2023

受益者記述書又はクラブ責任者報告書（新聞記事等がありましたらデータでなるべく貼り付けて下さい）
折りたたまずに A4 サイズに納めて下さい。



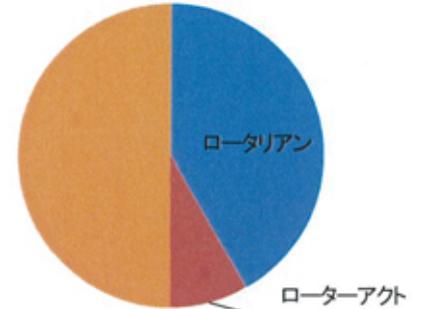
直江津港 美化整備プロジェクト2023 アンケート結果

実施日：令和5年4月29日(土)

参加者 60名 (回収率 100.0% 回答者：60名)

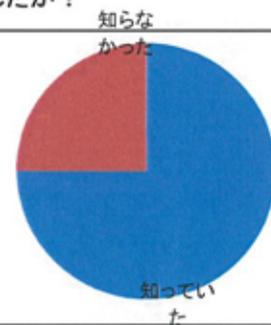
Q1. ご所属をお知らせください。

1	ロータリアン	25人	42%
2	ローターアクト	5人	8%
3	企業	0人	0%
4	地方自治体	0人	0%
5	小・中・高校等	0人	0%
6	その他	30人	50%



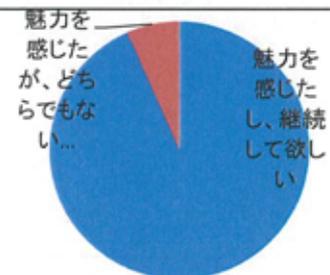
Q2. 直江津ロータリークラブによる直江津港周辺のハマナス植樹事業の事をご存じでしたか？

1	知っていた	45人	75%
2	知らなかった	15人	25%



Q3. 今回の美化整備プロジェクトにより直江津港周辺の施設に魅力を感じましたか？また今後継続して欲しいですか？

1	魅力を感じたし、継続して欲しい。	56人	93%
2	魅力を感じたが、どちらでもない。	4人	7%
3	興味がない。	0人	0%



第 2560 地区 2022-23 年度 4 月末 会員数報告

R	C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			増減
				2022年 7月1日	4月末 会員数	うち女性	
第1分区(9クラブ)							
			-	372	382	37	10
		4	31.5%	88	89	0	1
		4	19.5%	38	41	10	3
		4	29.0%	33	31	1	-2
		4	85.7%	44	50	3	6
		4	21.6%	38	38	4	0
		3	17.4%	23	23	2	0
		4	4.3%	45	46	4	1
		5	51.4%	36	37	7	1
		4	25.9%	27	27	6	0
第2分区(9クラブ)							
			-	426	436	31	12
		4	28.9%	79	83	3	4
		4	14.3%	63	63	8	0
		4	34.8%	108	112	6	4
		2	80.0%	5	5	0	0
		4	47.5%	38	40	2	2
		3	13.5%	38	37	4	-1
		4	31.6%	35	38	1	3
		3	44.4%	18	18	0	0
		3	53.7%	42	40	7	0
第3分区(5クラブ)							
			-	89	93	5	4
		4	18.8%	18	16	1	-2
		4	50.0%	10	12	0	2
		4	28.1%	30	32	1	2
		4	37.0%	26	27	3	1
		3	0.0%	5	6	0	1
第4分区(11クラブ)							
			-	350	363	26	13
		4	10.7%	55	56	0	1
		4	8.6%	33	35	2	2
		4	6.9%	32	29	4	-3
		3	17.1%	35	41	2	6
		4	73.3%	29	30	4	1
		3	5.3%	21	20	1	-1
		3	3.6%	28	28	3	0
		4	9.4%	54	53	2	-1
		4	7.1%	25	28	3	3
		4	14.3%	6	6	2	0
		3	5.4%	32	37	3	5

R	C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			増減
				2022年 7月1日	4月末 会員数	うち女性	
第5分区(7クラブ)							
			-	288	295	26	7
		3	72.3%	44	47	3	3
		3	2.4%	40	42	0	2
		3	25.9%	52	54	5	2
		3	19.0%	43	43	2	0
		4	14.3%	21	21	1	0
		4	18.4%	49	49	3	0
		3	23.1%	39	39	12	0
第6分区(6クラブ)							
			-	116	125	13	9
		3	32.3%	31	31	4	0
		4	9.4%	28	32	4	4
		5	15.4%	25	26	3	1
		3	0.0%	14	15	1	1
		4	21.4%	12	14	1	2
		4	14.3%	6	7	0	1
第7分区(7クラブ)							
			-	313	314	21	1
		3	34.3%	70	70	4	0
		3	36.1%	72	72	6	0
		3	11.8%	35	34	1	-1
		3	95.3%	41	42	3	1
		4	64.9%	35	37	3	2
		4	55.6%	27	27	0	0
		4	91.2%	33	32	4	-1

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,954 人
4月末会員数	2,008 人
女性会員数	159 人
純増減会員数	54 人
My Rotaryアカウント登録率	29.4 %

地区主要行事予定

2023年5月31日現在

年	月	日	行 事	会 場	
2023年 (R5) 高橋年度	6月	ロータリー親睦活動月間			
		3	(土)	白根RC創立60周年記念式典	サルナート吉運堂
		3	(土)	歴代地区幹事会	ホテルイタリア軒
		4	(日)	新潟万代RC創立30周年記念式典	ホテルオークラ新潟
		10	(土)	次年度防減災セミナー(温暖化対策勉強会)	長岡市中央図書館
		9~11	(金~日)	全国青少年交換研究会	ホテルオークラ新潟
		17	(土)	青少年交換派遣学生壮行会	ホテルオークラ新潟
		18	(日)	見附RC創立40周年記念式典	ホテルつるや
		24	(土)	高橋年度感謝の集い	ホテルイタリア軒
		24	(土)	ローターアクト地区協議会	ANAクラウンプラザホテル新潟
25	(日)	ロータリー財団 学友会総会	ホテルイタリア軒		
28	(水)	地区事務職員合同会議	ホテルイタリア軒		
2023年 (R5) 米山年度	7月	母子の健康月間			
		1	(土)	第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
		2	(日)	全国危機管理委員長会議・青少年交換委員長会議	TKP京橋
		未定		短期インバウンド出迎	
		未定		短期交換学生研修旅行	
		15	(土)	危機管理委員会	ホテルオークラ新潟
		15~16	(土~日)	インターアクト年次大会(ホストクラブ:新潟北RC)	新潟東映ホテル
		22	(土)	地区補助金オリエンテーション	万代シルバーホテル
29	(土)	クラブ活性化セミナー(会員増強セミナー)	ホテルオークラ新潟		

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
糸魚川	萩原 丈士	2023.04.01	デンカ(株)青海工場	工場長	有機無機化学製品製造
柏崎	佐野 賀一	2023.04.05	東芝エネルギーシステムズ(株) 柏崎刈羽電子力作業所	所長	発電プラント
柏崎	星野 明彦	2023.04.05	植木不動産(株)	代表取締役社長	不動産業
高田	庭野 純志	2023.04.07	アートホテル上越	支配人	シティホテル
柏崎東	青柳 拓磨	2023.04.10	岡三にいがた証券 柏崎支店	支店長	証券業
新発田城南	八木 康介	2023.04.13	明治安田生命保険相互会社 新発田営業所	営業所長	生命保険業
新潟	澤田 尚	2023.04.25	清水建設(株)北陸支店新潟営業所	営業所長	コンクリート建築
三条	田久保 良	2023.04.26	東京海上日動火災保険(株)長岡支社	課長	保険
中条	山崎 克雄	2023.04.26	大印合同青果(株)	代表取締役	青果仲卸
新潟東	宮本 武弥	2023.04.28	(株)日立製作所 関東支社新潟支店	支店長	電気機器製造
糸魚川	高岩 哲史	2023.05.01	(株)オーミオート	代表取締役	自動車販売
三条南	中村 靖	2023.05.08	パソコンよろず屋+	代表	IT関連事業
白根	中野 幹也	2023.05.11	有限会社 文祐堂	代表取締役	事務機器販売

【訃報】

(敬称略)

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類	経歴・その他
三条	中村 信一	2023.04.09	北興商事(株)	取締役会長	資源リサイクル業	2018-19年度 地区大会記念親睦ゴルフ大会実行委員長
新井妙高	田中 弘之	2023.05.05	君の井酒造株式会社	代表取締役社長	日本酒製造	2008.7.16入会



第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 中里 公造 (川口モーニング)

間もなく新年度がスタートします。

新年度に入る準備として、クラブ活動(年度)計画書に記載のクラブ定款は、2022年度版のものになっているのでしょうか？

2019年度版や2016年度版、さらにはそれ以前の古いクラブ定款のままになっているクラブはありませんか。またクラブ細則も新しい定款に添ったものに変更されているでしょう

か。クラブの委員会構成はクラブ細則に沿ったものになっているのでしょうか。

クラブ定款・細則で、2022年の規定審議会で変更になった部分には、下線をいれておくと会員の皆さんも分かりやすいのではないのでしょうか。

クラブ細則は、クラブ独自のものでクラブの特徴を表しているのでしょうか。

また、毎年変更されているのでしょうか。

所在地域は、正しい表記になっていますか。以前の区域限界のままの表記になっていませんか。

さて、昨年度の2022年規定審議会では、人頭分担金の度重なる値上げが採択されました。また、日本から提案された事務総長に関する立法案が否決されましたが、それぞれの地区を代表する皆さんが集まって規定審議会で決めたことだから仕方がない、と端らから諦めていませんか？

クラブは規定審議会によって採択された立法案に対し、反対の意思表示をすることが出来ます。クラブからの有効投票のうち5%相当のクラブの反対票があった場合、採択された立法案の効力は一時保留となります。その後一時保留となった立法案に対しクラブとして賛否を投票し、反対票が過半数を超えた時は、規定審議会で採択された立法案は一時保留の日にさかのぼり無効となります。決して規定審議会の決定が最終ではないということです。

2022年の規定審議会の結果については8件の立法案について反対票がありました。「人頭分担金を増額する件」への反対票が一番多く402票でしたが、一時保留にするには2,632票が必要でしたので及びませんでした。

次の規定審議会は2025年です。どの様な立法案が採択されるか分かりませんが、規定審議会の決定におかしいと嘆く前に、クラブ内で検討しクラブとしての意思表示を出して見ませんか。



第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 井原 實（さいたま新都心）

2020年7月-23年6月の3年間第1地域のRPICを務めさせて頂きました。この原稿は5月に書いておりますので、任期は1カ月と少し残っております。

2020年の3月中旬にエバンストンにおいて開催予定の地域コーディネーター研修に参加する準備をしている時に、「RIはCOVID-19について万全の対策をしているので安心してシカゴに来て下さい」とのメールを受信し、数日後に中止のメールを受信するという劇的な変化を体験しました。国内では安倍総理がコロナ対策で小中学校の春休みを1週間前倒しにすると発表していた頃だったと思います。私と同期の第2地域の服部陽子 RPIC、服部良男 RRFC はエバンストンでの研修を受講すること無く、その任に着きました。

幸い、第3地域を担当しておられた山下皓三 RPIC が1年先行して RPIC を務めておられたので、山下リーダーを中心に Zoom を使ったオンライン会議で密に連絡をとりながら活動計画を練りました。

任期1年目は、3地域の各地区の公共イメージ委員長にアンケートをお願いした後、オンラインでの3地域合同での委員長セミナーを実施しました。RIの行動計画と公共イメージ向上、ロータリーのブランド、公共イメージ向上の例として世界ポリオデーなどについて説明しました。開催日の二日前の8月27日にWHOがアフリカでのポリオ根絶の宣言を発表しましたが、新聞記事の中に国際ロータリーの名前は一切出て来ませんでした。ロータリーのポリオ根絶活動については私達ロータリアンが一般の人々に伝える努力をしなければならない事を痛感しました。

任期2年目は、辰野 RI 理事（2022年当時）が日本経済新聞にロータリーの1面広告を掲載してロータリーの紹介をしようと提案され、10月22日の世界ポリオデーの直前に記事が掲載されました。また、日本の幾つかの地区が世界ポリオデーに向けて大きなイベントを実施して下さいました。

任期3年目は、佐藤 RI 理事が、日本の津々浦々で各ロータリークラブが世界ポリオデーに向けてのイベントを実施しよう推進しようと提案され、10月18日に日経の1面広告を掲載し、世界ポリオデーのフォトコンテストを実施しました。

任期中の3年間はコロナ禍の中でリアルでのセミナーが開催出来ず、担当地区の皆様と直接お話しする機会は少なかったですが、オンラインの会議を通じて各地域の公共イメージ委員長、ガバナー、ガバナーエレクトとの方々、そして各地域の ARPIC の方々と繋がり、沢山の支援を受けました。フォトコンテストにおいては、ジェニファージョーンズ RI 会長、イアンライズリー R 財団管理委員長、佐藤 RI 理事、三木 R 財団管理委員に写真の選定をして頂くなど、大きなイベントに繋げることが出来ました。関係各位のご支援。ご協力に感謝申し上げますと共に、公共イメージ向上のご理解が進むことを願っております。



「世界でよいこと？」



第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 四宮 孝郎（大阪西南）

たった26ドル50セントの寄付から始まった基金の設立。

1917年のアトランタ国際大会においてRI会長アーチ C.クランプ氏の「世界でよいことをしよう」との提案に、カンザスシティロータリークラブが呼応して拠出したものでした。

1928年に「ロータリー財団」と命名され現在でも発展し続けていますが、「世界でよいこと」をする大きな第一歩の財団プログラムは1947年の「国際理解を育む」ことを目的とした19名の各国からの学生に対する大学院留学の為の奨学金の提供でした。

その後、1978年より補助金プログラムとして3H（Health 保健・Hunger 飢餓追放・Humanity 人間性尊重）プログラムが創設され、現在のグローバル補助金へと繋がっています。

1985年から始まったポリオ根絶プログラムは世界中の子供たちの命を守る事ができ、大きな成果を上げていますが、全世界でポリオフリーが宣言されるまでロータリーの最優先事項であることはご承知のとおりです。

1999年には財団は「平和および紛争解決の分野における国際問題研究」の為のロータリーセンター（平和センター）の設立を果たしました。2002年の第一期生以降、多くのロータリー平和フェロー達が巣立って世界で活躍されています。

2013年から開始されたDG（地区補助金）・GG（グローバル補助金）により財団のプログラムも大きく変わりましたが、2022-23年度では654件のGG・259件の災害救援補助金が「世界でよいこと」の為に活用されています。

直近のトルコ・シリア大地震などの自然大災害が世界各地で発生し、支援活動が様々な形で実施されています。ウクライナ問題に対する支援活動も今後ニーズに合ったものが求められ、継続して実施していかなければなりません。又、その他の紛争地域に対するロータリーとしてできる支援活動も求められています。

「女兒のエンパワーメント」「メンタルヘルス」に対する取り組みも始まっています。

ロータリー財団の歴史にあるように、その時に私たちに求められているものを把握して、ロータリアンである誇りと自信を胸に「世界でよいこと」を実現できるための種をこれからも皆様と共に蒔いてまいりましょう…



1. ベトナム南米山学友会が誕生！海外 10 番目

ベトナム南部、ホーチミン市を中心とする「ベトナム南米山学友会」が5月9日の常務理事会にて正式に承認され、海外 10 番目となる米山学友会が誕生しました。創立会員は 28 人、初代会長はホーライフーンさん（1973-75／桐生西 R C）、副会長をタイヴァンナムさん（2007-11／千里 R C）が務め、その他 1 人の会計、2 人の監事、7 人の理事、計 12 人の役員で運営されます。



ホーライフーン会長は「5月9日はわれわれにとって記念すべき日となりました。これから皆で一層団結し、世

の中、人々のため、頑張ってやっていきたい」と、意気込みを語りました。

ホーチミンでは 2014 年から米山学友がグループを形成し、児童・障害者・高齢者のための福祉施設への慰問などさまざまな奉仕活動の実績があり、今後さらなる活躍が期待されます。

2. 寄付金速報 — 今年度も残り 1 カ月半 —

前年同期比

+ 5.9%

普 - 1.1% 特 + 9.6%

4 月までの寄付金は前年同期と比べて 5.9% 増（普通寄付金: 1.1% 減、特別寄付金: 9.6% 増）、約 6,960 万円の増加となりました。送金が遅れてい

た普通寄付金の納入も回復し、2,088 のクラブからご送金いただきました。また特別寄付金も創立記念寄付として 17 クラブから合計 270 万円という多額のご寄付をいただき、厚く御礼申し上げます。今年度も残すところ 1 カ月半となりました。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

3. 米山学友が中心となった衛星クラブが誕生

第 2680 地区（兵庫県）で米山学友を中心とする衛星クラブ、宝塚ユニバースロータリー衛星クラブ（スポンサークラブ：宝塚 R C）が 3 月 6 日付で認証を受け、正式に誕生しました。衛星クラブとは既存のクラブの中に作られるクラブで、8 人の会員で結成が可能です。衛星ク

ラブ会員はスポンサークラブの正会員ですが、独立して例会を開き、細則や理事会も独自のものとなります。

同衛星クラブは 10 人の創立会員のうち 8 人が米山学友で、^{バックカキ} 麦嘉輝さん（2017-18／尼崎西 R C）が初代議長。毎月第 1・第 3 火曜日の 19 時からオンラインで例会を開催します。

麦さんは、「クラブ名の『ユニバース』には『全世界、全人類』という意味を込めました。この多国籍な米山学友が集まったクラブの多様性を生かし、多くの仲間を集め、自由に討論を重ね、ともに世界や地域社会のための奉仕活動を積極的にしていきたいです。これから有志の仲間を増やして活発に活動していきます」と、意気込みを語りました。



4. さいたま大空RCが創立10周年！

米山学友と財団学友によって設立されたロータリークラブ、さいたま大空RC（第2770地区）の創立10周年記念式典が4月22日、さいたま市内で開催され、創立当時のガバナー・渡邊和良氏のほか、恵川一成特別代表、クラブの成長を見守ってきた歴代ガバナーや地区米山関係者などロータリアン、学友ら約90人が祝福にかけつけました。

同クラブは2013年に設立され、創立会員全員が財団学友と米山学友という特色あるクラブです。15年度からは毎年欠かさず海外への教育支援、医療支援を実施しており、今年度はインドネシア・キルギス・モンゴルを対象に国際奉仕活動を行いました。

今回の式典は駅に隣接した商業施設内広場で行われ、クラブ名に象徴されるように、見上げれば大空が広がる会場での開催となりました。はじめに記念講演として、公益財団法人埼



玉県国際交流協会の職員2人と、大宮シティRC会員の谷垣智之弁護士が登壇。続いて、クラブ会長のチャンコントゥアンさん（2008-10/幸手RC）の開会点鐘、来賓祝辞、拡大特別委員長と特別代表への感謝状贈呈、ロータリー財団と米山奨学会への寄付金がそれぞれの部門委員長へ手渡されました。同クラブがこれまで行ってきた国際奉仕活動の検証ビデオでは、現地から感謝の声が次々と届けられ、約10年間にわたる貢献の喜びを共に噛みしめました。

10周年記念事業として阮潔^{ゲン ケツ}実行委員長（2016-18/川口モーニングRC）から「モンゴル全国規模図書室設立プロジェクト」が発表されると参加者から拍手喝采が沸き、オンラインで参加していたモンゴル米山学友会のナサンバヤル ボロルマー直前会長（2011-12/矢板RC）が代表して感謝を述べました。

5. 新奨学生の抱負「米山奨学生の名に恥じぬよう」

4月から新年度が始まり、新規奨学生として採用された648人の米山奨学生が全国各地で新たなスタートを切りました。多くの世話クラブが新規奨学生を迎え、カウンセラーとの対面、オリエンテーションや例会の参加などで奨学生が歓迎を受ける中、新たな環境で挑戦が始まる米山奨学生、韓国出身の韓熙那^{ハンヒナ}さん（2023-25/和歌山アゼリアRC）に意気込みと、これからの抱負をお伺いしました。



【韓熙那さん】

4月に初めて和歌山アゼリアロータリークラブの例会に参加させていただきました。毎週のように

例会で集まり、さまざまな奉仕活動が行われていることを目の当たりにし、とても素敵だと感じました。参加する前は何を話せばいいのか少し不安でしたが、ロータリアンの方々から気さくに話題を振ってくださり、リラックスしてコミュニケーションをすることができました。おかげで、親睦を深めることができ、とてもほっとしています。

これから積極的にクラブ行事などに参加し、日本についてさらに理解を深めていきたいです。米山奨学生の名に恥じぬよう、学業にも全力を尽くしてまいります。私がこうして学業に専念できることは、皆さまからのご支援があってこそ、という感謝の気持ちを忘れず、多くの方の役に立てる人材になれるよう努力してまいります！